

道路改良工事（拡幅）の詳細

道路改良工事（拡幅）を行っていた長見トンネルからの258mの区間について、令和2年3月下旬より着工し、令和5年1月末に拡幅（二車線）工事が完成しました。



工事の概要

- 工事位置：浜田市長見町
- 工事期間：令和2年3月～令和4年2月
- 工事延長：258m
- 施工者：宮田建設工業株式会社
今井産業株式会社



本事業で行われた各種工事について

法面工

山を切ったり、土を盛ったりして作られた人工的な斜面を法面と言いますが、土がむき出しの状態では風雨や流水などの影響を受けやすく、法面の崩壊や土砂の流出が発生することがあります。これらの土砂災害を未然に防ぐために斜面の表面を保護する工事を法面工と言います。

写真の様に、鉄筋コンクリートを格子状に施工して法面保護を行う工法をコンクリート法枠工と言います。

工事前



工事後



落石対策工

落石の防止と落石からの防護を目的とした工事です。落石の危険性のある岩石の固定や撤去を行う落石防止工と、金網やフェンスを設置し落下してくる落石から保全対象を守る落石防護工が行われます。

落石防護網



落石防護柵



盛土工

盛土工は現在の地面より上に土砂を盛り立てる作業です。本工事では軽量盛土と呼ばれる工法を用いて現道を川側に拡幅しました。

軽量盛土工法は大型の発泡スチロールブロック※1を用いる工法で、軽量性及び自立性に優れる事から急傾斜地での地すべりの誘発を防ぐことができます。

拡幅前



拡幅後



※1 青色のブロックが
発泡スチロールブロック

アスファルト舗装工

アスファルト舗装工は、路面を平坦で滑りにくくすることで、交通車両の快適な走行を補助するとともに、交通車両からの荷重を路体に均一に伝達することや雨水が路体下部に浸透することを防ぐなどの目的があります。

舗装前



舗装後



現在の状況

今回道路改良工事が行われた258mの区間について、令和4年4月より片側交互通行で供用を開始していましたが、現在は舗装も終わり交通規制も解除されたことで、長見トンネルと併せスムーズな通行が可能になりました。今後は残りの330mの区間について道路改良を進めて参ります。

トンネル坑門付近の状況



路面の状況

